

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束をしないケアの実践・・・安全のために玄関は暗証番号の入力で開錠出来るようになっており、考え方によっては拘束ともいえる。また、介護職員が気づいていない拘束もありうる。	・夜間は難しいので昼間の間だけでも開錠し自由に行動できるようにする。	・毎月のフロアミーティングで身体拘束・虐待委員会の内容を報告し理解を深める。 ・全スタッフに周知できるようミーティングに参加できなかったスタッフ用に資料を作成する。 ・なぜ、玄関を閉めておくことが身体拘束になるのかを理解してもらう。	6ヶ月
2	20(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援・・・新型コロナ蔓延のため地域交流ができていない。	・少ない人数でできる地域交流を行う。	・平日の空いている時間に喫茶店や外食に出掛ける。 ・5～6人制の認知症カフェの実施。	3ヶ月
3	35(13)	・災害対策・・・火災や地震の定期的な防災訓練がマンネリ化している。夜間想定がなかなか実践できない。	・夜間を想定した防災訓練を行う。 ・毎月の防災訓練を1年分計画を立て行う。	・防災訓練計画を作成する。 ・消防署の協力をいただき実践的な訓練を行う。 ・夜勤スタッフ向けの防災訓練を3ヶ月に1回位のペースで行う。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。